保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   （ロ）お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   （但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. 本製品のご利用によって生じる物品の破損/故障は補償の対象外となります。
4. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名　電子式保冷保温ボックス				★お買い上げ日：　年　月　日
型 番	COK-R084M-H	品 番	08-3331	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）

お客様	
	フリガナ ★お名前　様
	★ご住所 〒　－ 電話　（　）

修理メモ

販売店	
	★住所　店名　電話 印

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM ELECTRIC INC.
株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日9：00〜17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

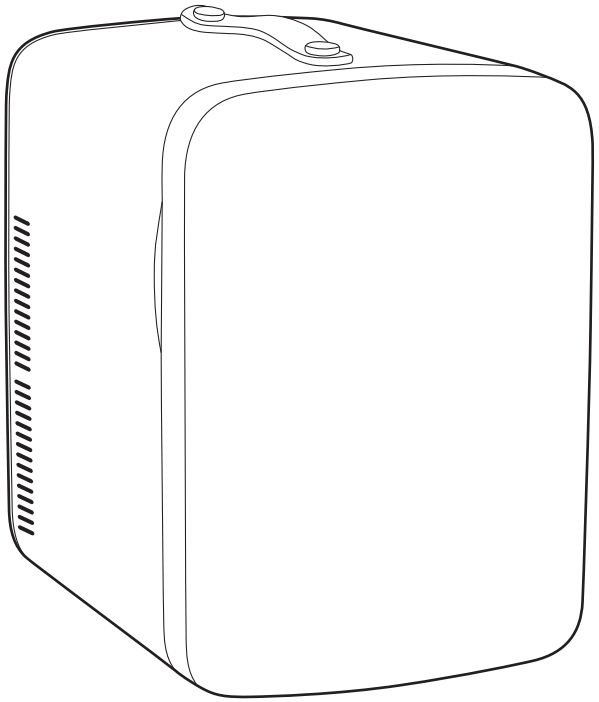
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日9：00〜17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

OHM ELECTRIC INC.

電子式保冷保温ボックス

COOLER & WARMER
COK-R084M-H

取扱説明書
保証書付



目　次

安全上のご注意	1〜2
各部の名称	3
ご使用方法	4〜5
設置場所	5
保存方法	6〜7
お手入れ方法	7〜8
長期間ご使用にならないときは	9
製品仕様	9
廃棄時のご注意	9
故障かな？と思ったら	10
保証書	11

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●取扱説明書をお読みになったあとは、必要な時に取り出せるように、保証書と一緒に大切に保管してください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめください。
この製品は、保冷・保温専用です。
常温のものを本製品で保冷（保温）する場合は、目的の温度になるまでに時間がかかります。お急ぎの場合は、事前に本製品を運転させて庫内の温度を調節したうえ、あらかじめ冷やした（温めた）ものを入れてください。

品番 08-3331

安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

●表示について：表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。（下記は図記号の一部です）

禁止 この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。	**指示** この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

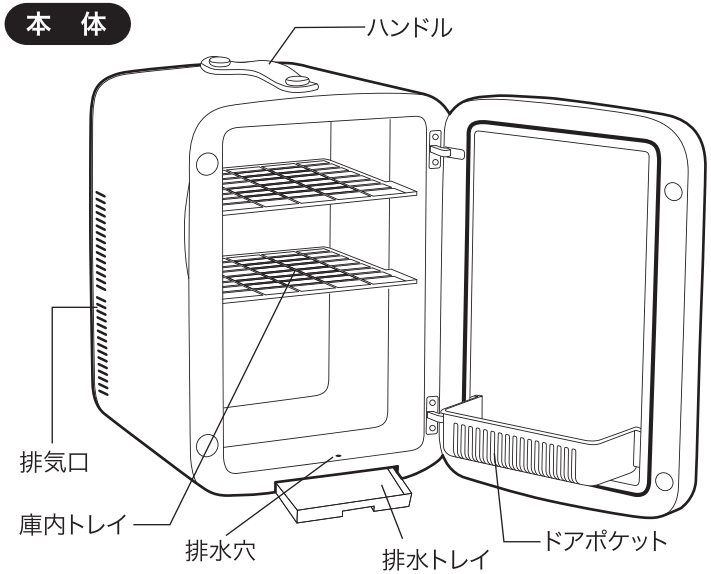
禁止	**電源コードを破損するようなことはしない。** 故障や火災の原因となります。 （傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。）
禁止	**コンセントの定格を超える使い方をしない。** たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
禁止	**吸気口や排気口へ、ピンや針金などの異物を差し込まない。** 火災・感電の原因となります。
禁止	**本体の上に不安定な物や、花瓶など液体を入れた容器を置かない。** 落下して、火災・けがの原因となります。また、容器から液体がこぼれて電源にかかると、漏電火災の原因となります。
禁止	**シンナーやスプレーなど、引火しやすいものは入れない。** 爆発する危険があり、火災の原因となります。
禁止	**ドライアイスは入れない。** 急激な温度変化により、故障の原因となります。また、ドライアイスは溶けて気化すると膨張し、密閉した状態では爆発するおそれがあります。
禁止	**医薬品や学術試料は入れない。** 温度管理の厳しいものは保存できません。
禁止	**保温時には、庫内の金属部分に触れない。** 高温になっているため、やけどの原因となります。
水ぬれ禁止	**水をかけたり、水につけたりしない。** ショートや感電の原因となります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグやアクセサリーソケットの抜き差しをしない。** 感電の原因となります。
禁止	**車の運転をしながら本体の操作をしない。** 思わぬ事故の原因となります。
禁止	**車での使用中は車から離れない。** 思わぬ事故の原因となります。
禁止	**車の座席などの不安定な場所や、燃えやすいものの近くでは使用しない。** 落下して、火災・けがの原因となります。
禁止	**車で使用する場合は運転席の足もとには置かない。** 足もとでコードが絡まるなど、思わぬ事故の原因となります。
指示	**電源プラグとコンセントの間についたほこりなどは定期的に取り除く。** 電源プラグにほこりがたまると、湿気などで火災の原因となります。
指示	**電源プラグは根元まで確実に差し込む。** 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
指示	**お子様が使用する際には、必ず大人の目が届くところで使用させる。** 火災・感電・けがの原因となります。
指示	**必ず付属の専用ACアダプターと専用DC電源コードを使用する。** 他のコードを使用すると、異常に発熱して、発煙・発火のおそれがあります。
電源プラグを抜く	**本体の破損・発煙・異臭・異常に熱いなどの異常を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いて使用を中止する。** そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに修理依頼をしてください。
電源プラグを抜く	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う。** 火災・感電の原因となります。
分解禁止	**分解・改造は絶対にしない。** 火災・感電の原因となります。

注意

禁止	**本体に腰掛けたり踏み台にしない。** 本体が倒れて、事故や故障の原因となります。
禁止	**横向きや逆さの状態で使用しない。** 庫内の中身が飛び出すおそれがあります。
禁止	**ストーブなどの暖房器具や、高温になるものの近くに置かない。** 本体の変形や、事故の原因となります。
禁止	**ドア部分を持って運ばない。** 落下して、本体の破損やけがの原因となります。
禁止	**ドアの開閉時には、指をはさまないように注意する。** けがの原因となります。
禁止	**本体のドアを開けたまま放置しない。** 保冷／保温の効果が十分に発揮できません。
禁止	**庫内に水分を残して放置しない。** カビの発生原因となります。
禁止	**庫内には、食材を直接入れない。** 庫内は抗菌処理されていないので、食材にはラップをかけるかポリ袋などに入れてください。
禁止	**庫内には、水や氷を直接入れない。** 故障の原因となります。
禁止	**市販の保冷剤（硝安・尿素を含む）を入れない。** 保冷剤が破れて中身がもれた場合、故障やサビの原因となります。
禁止	**吸気口・排気口をふさがない。** 故障の原因となります。
禁止	**開封後の飲料などは長期間保存しない。** 庫内で飲料がこぼれた場合、故障やサビの原因となります。
禁止	**本体に強い衝撃を与えない。** 電子部品を内蔵しているため、故障の原因となります。
禁止	**保冷中、周囲の温度が5℃以下になる場合は、ガラス瓶などの割れやすいものを入れない。** 中身が凍って割れると、けがの原因となります。
禁止	**アイスクリームや冷凍食品、生鮮食品は保存しない。** 食品の変質や劣化の原因となります。
禁止	**スプレー式の殺虫剤や芳香剤、消臭剤などを吹き付けない。** 故障の原因となります。
禁止	**24V車では使用しない。** 発火や故障の原因となります。
禁止	**車のトランクの中や、直射日光の当たる場所では使用しない。** 高温になるため、冷却性能が悪くなったり故障の原因となります。
電源プラグを抜く	**長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 長期間使用しない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜く	**電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。** 電源コードを持って引張ると、コード内部が断線し、感電や発火のおそれがあります。
電源プラグを抜く	**車の電源で使用している時は、エンジンを止める前に電源プラグを抜く。** 車種によってはエンジンを止めても電源が切れない場合があり、バッテリーが上がることがあります。
指示	**保冷／保温の切り替えは、十分に時間を空けてから行う。（約30分）**
指示	**使用しない場合は、正しく保管する。** ●高温、高湿、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、極寒になる場所で保管しない。 ●子供の手の届かない場所または鍵がかかる場所で保管してください。事故の原因となります。
指示	**ご使用前に必ず確認する。** ●使用する前に、本体や電源プラグ、電源コードを点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●延長コードを使用する場合は、あらかじめ点検し、損傷している場合は交換してください。感電やショートによる発火の原因となります。
水ぬれ禁止	**湿気の多い場所や、雨や水のかかる場所では使用しない。** ショートや感電の原因となります。

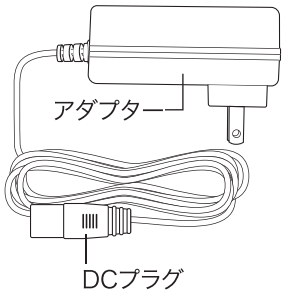
各部の名称

本　体

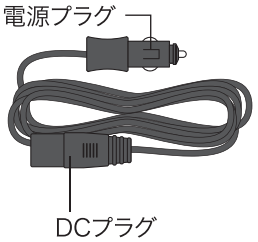


付属品

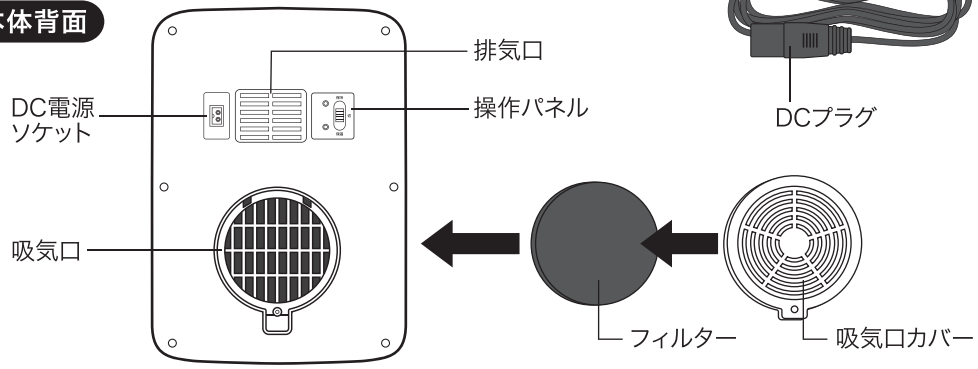
専用ACアダプター



専用DC電源コード

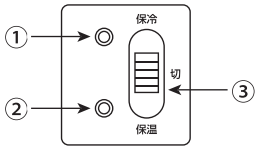


本体背面



> ⚠ **注意**　フィルターは電源を切ったうえで、1ヶ月に1回は必ずほこりを除去してください。→お手入れ方法は7～8ページを参照してください。

操作パネル部



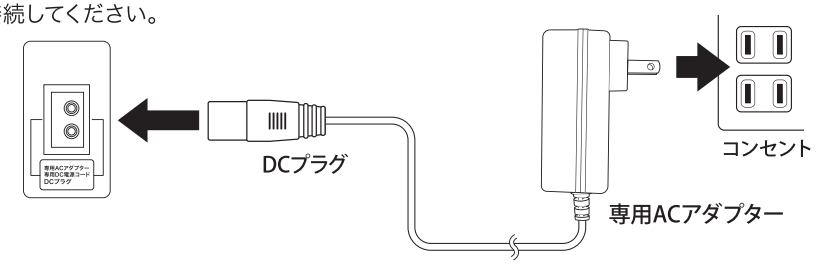
①保冷ランプ …… 保冷時に緑色に点灯
②保温ランプ …… 保温時に赤色に点灯
③運転切替スイッチ …… 保温・切・保冷の運転を切り替える

ご使用方法

家庭用の電源（AC100V）を使用する場合

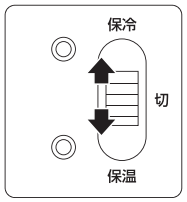
①本体を水平で安定した場所に置き、付属の専用ACアダプターを使用して、DCプラグを本体に接続してください。

②専用ACアダプターをコンセントに接続してください。



※使用中に温度が50℃程度になることがございますが故障ではありません。そのままご使用いただけます。

③運転切替スイッチを「保冷」または「保温」に合わせてください。

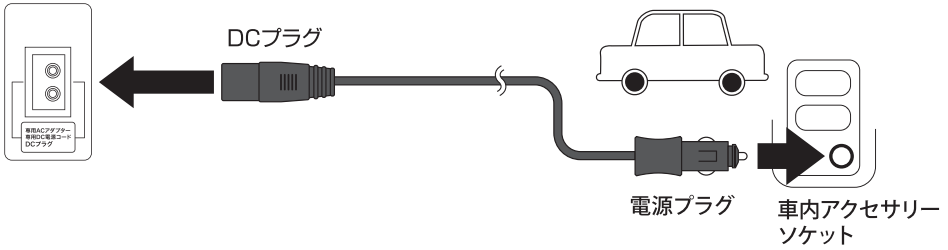


> 付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

自動車の電源（DC12V）を使用する場合

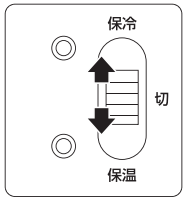
①本体を水平で安定した場所に置き、付属の専用DC電源コードを使用してDCプラグを本体に接続してください。

②自動車のエンジンをかけ、電源プラグをアクセサリーソケットに接続してください。



ご使用方法（つづき）

③運転切替スイッチを「保冷」または「保温」に合わせてください。



注意

- ●自動車内でご使用になるときは、必ず付属の専用DC電源コードで接続してください。自動車内のAC100V電源では、動作不良・故障の原因になる場合があります。
- ●DC12V・マイナス（–）アース車専用です。プラス（+）アース車、DC24V車では使用できません。
- ●DCプラグには⊕⊖があります。DC電源ソケットの凸部とDCプラグの凹部を合わせて差し込んでください。
- ●DCプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。正しく接続されていないとDCプラグが発熱します。
- ●車で使用する場合、エンジンを止める前に電源プラグを抜いてください。自動車のバッテリーが上がる原因となります。

設置場所

●水平で安定した場所に設置してください。

じゅうたんや畳、塩化ビニール製の床の上に置く場合は、下に板などを敷いて安定した状態で使用してください。不安定な状態で使用すると、本体が倒れて事故や故障の原因となります。

●風通しが良く、高温になりにくい場所に設置してください。

壁際で使用するときは壁面から10cm以上離し、空気の流れを確保してください。

・家具やケースの中には入れないでください。

・必ず空気の流れを確保してください。

・直射日光の当たる場所や室温が高く高温になる場所、換気が悪い場所などには設置しないでください。冷却効果が悪くなるだけでなく、事故や故障の原因となります。

●夏場や湿気が多い場所に使用した際、結露が発生しやすくなります。

放置すると水が本体の外に流れていく可能性があります。庫内にタオルなどを敷いてからご使用することをお勧めします。

●ラジオやテレビのアンテナ付近には設置しないでください。

音声や映像に雑音やノイズが入る場合があります。

●使用環境により庫内奥に霜が付く場合があります。

霜が付くと冷気が庫内に伝わりにくく、冷やす性能が落ちてしまいます。沢山付く前に庫内のお手入れをしてください。

●本体を移動させるときは引きずらないでください。

本体の故障や破損、床を傷つける原因となります。

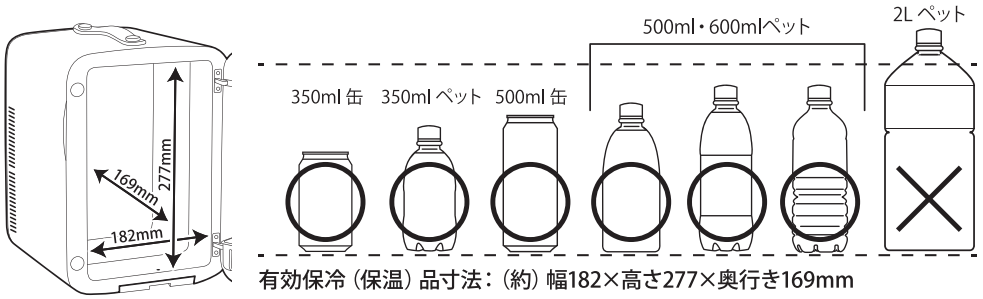
保存方法

①庫内に何も入れずにドアを閉め、庫内温度が安定してから保存するものを入れてください。

②あらかじめ冷やした（温めた）ものを庫内に入れてください。常温のものを入れる場合、冷たく（温かく）なるまで時間がかかります。

③ドアは確実に閉めてください。保冷（保温）効果が十分に得られなくなります。

④詰め込み過ぎないでください。期待される保冷（保温）効果が発揮できなくなります。



有効保冷（保温）品寸法：（約）幅182×高さ277×奥行き169mm

※保温運転の際には、保温専用以外のペットボトルを入れないでください。
変形・破損のおそれがあります。

※ドアを開けたとき、本体のバランスが悪くなる場合があります。転倒の可能性がありますのでご注意ください。

※保冷温度は外気温で左右されます。目安は外気温から-20℃になります。周囲温度が高いときは保冷効果が感じにくくなります。保温温度は約55℃の設定になります。周囲温度が低いときは規定温度55℃までは時間がかかります。

注意

●保温の場合は、庫内奥の発熱面が高温（約80℃）になります。やけどの危険がありますので、触れないでください。

食品を保存するときの注意

長期間の保存はせず、先に入れたものから使用してください。

密封容器やポリ袋、ラップなどで密封

●ボトルや瓶類を保存するときは、しっかりと密封してください。

●お米や化粧品などの水に濡れて困るものは、密封容器やポリ袋に入れて保存してください。

●密封容器やポリ袋は、耐熱温度が100℃以上のものを使用してください。乾燥や臭い移りを防ぎます。

保存できないもの

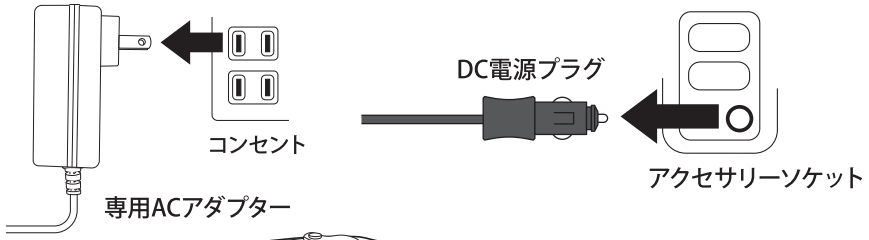
●アイスクリームや冷凍食品
●肉や魚などの生鮮食品の長期保存
●医薬品や学術試料など、温度管理の厳しいもの

⚠ 注意

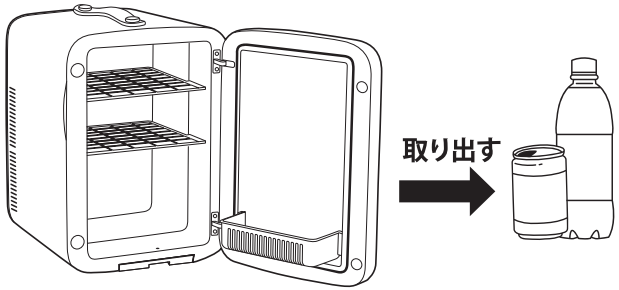
●保冷⇔保温の切り替えは、電源切替スイッチを「切」にして、庫内の保冷（保温）品を取り出した後に**30分**ほどドアを開けておいて、庫内の温度が常温になるのを待ってから電源切替スイッチを切り替えてください。運転中に電源切替スイッチを切り替えると、急激な温度変化により、電子部品が故障するおそれがあります。
●庫内の温度は外気温に左右されます。場合によって保存物が凍ってしまう場合があります。ご注意ください。
●ドア部には強化ガラスを使用しております。ハサミやドライバーなど先端の尖ったものが当たると強化ガラスが破損しますのでご注意ください。
誤って強化ガラスが破損した場合は手袋をするなどして、直接触れないようにご注意ください。ケガの原因となります。

お手入れ方法

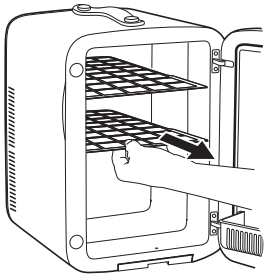
①電源切替スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントまたはアクセサリーソケットから抜いてください。



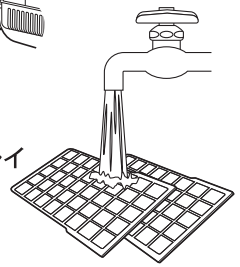
②庫内に入れた物を全て取り出してください。



③清潔な柔らかい布で庫内を拭いてください。汚れが気になる場合は、水でうすめた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。
また、庫内トレイとドアポケットは取り外して水洗いをし、水分をよく拭き取ってください。



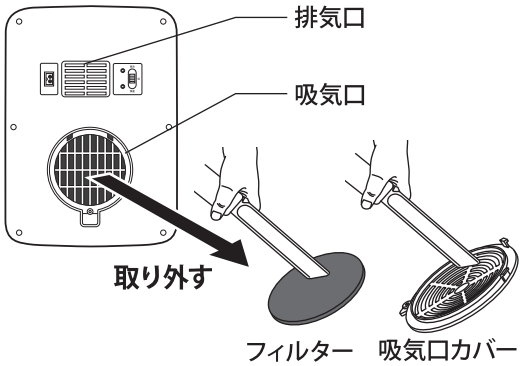
④吸気口カバーのネジを外し、フィルターを取り外します。
掃除機や柔らかいブラシで吸気口付近、フィルター、吸気口カバーのほこりやごみを取り除いてください。
フィルターは水洗いができます。水洗いする際は力強く洗わないでください。水洗い後はよく乾かしてください。
吸気口とフィルターは、必ず1ヶ月1回を目安に定期的な清掃を行ってください。



⚠ 注意

フィルターの目詰まりは故障の原因になるうえ、重大事故につながるおそれがあります。

●お手入れを行わずに使用し続けると、フィルターに付着したほこりが内部に吸い込まれ、火災や故障の原因になるおそれがあります。



⑤清掃が終わったら、フィルターと吸気口カバーを元の位置に戻し、ネジでしっかりと固定してください。

※吸気口カバーは必ずネジでしっかり固定してください。吸気口カバーを外したままにしていると、異物混入やファンとの接触のおそれがあります。

【庫内に水がついた場合】

周囲の温度が高い場合は、保冷時に結露した水が発生しやすくなります。乾いた布で水をふき取ってください。結露は自然現象で故障ではありません。
また、一部は排水穴から排水トレイに水が流れますので定期的に除去してください。

⚠ 注意

●保温で使用した後は、庫内が十分に冷えてからお手入れをしてください。
●本体の内部やファン部分には水をかけないでください。
●電源はフィルターを装着してから入れてください。

長期間ご使用にならないときは

●運転切替スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
●庫内に保存してあるものを全て取り出し、庫内を清潔にして水分をよく拭き取ってください。
●ドアは少し開けておくか、または時々開けて庫内の空気を入れ替えてください。市販の脱臭剤などを入れておくと効果的です。

製品仕様

電源	AC：100V　DC：12V
消費電力	47W
冷却方式	ペルチェ素子電子冷却方式
保冷温度目安	5℃±3℃（周囲温度25℃）※周囲温度により変動します。
保温温度目安	55℃±5℃（周囲温度25℃）※周囲温度により変動します。
使用温度範囲	5℃～40℃
コード長	ACアダプター：約1.5m　DC電源コード：約2.8m
外形寸法	（約）幅242×高さ366×奥行298mm
庫内容積	約 8ℓ
庫内寸法	（約）幅182×高さ277×奥行169mm
本体質量	約 3.45kg（ACアダプター含まず）
付属品	専用ACアダプター（×1）、専用DC電源コード（×1）、庫内トレイ（×2）、ドアポケット（×1）、保証書付取扱説明書

仕様及び外観デザインは、商品の改善・改良のため予告なく変更することがあります。

廃棄時のご注意

本製品は家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）の対象商品です。

対象廃棄物（家電4品目）	区分
冷蔵庫・冷凍庫	170L 以下

廃棄する場合は、家電リサイクル法に従い、適正な廃棄処理を行ってください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのポータブル電子式保冷保温ボックスを廃棄される場合は、収集、運搬費用と再商品化にかかる料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、製品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
詳しくは「一般財団法人家電製品協会」のホームページでご確認ください。

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	このように対処してください
電源が入らない	●電源プラグが緩んだり外れたりしている	→電源プラグを確実に奥まで接続してください。
	●自動車接続の場合、アクセサリーソケットにタバコのカスやほこりがつまっている	→ゴミをきれいに取り除いてください。
	●自動車接続の場合、エンジンがかかっていない	→エンジンをかけてください。ACC（アクセサリー）オンの状態にしておくと、バッテリーに負担がかかります。
よく冷えない よく温まらない	●庫内に品物が入りすぎている	→品物を減らして庫内にすきまをつくってください。
	●ドアが完全に閉まっていない	→ドアを確実に閉めてください。
	●吸気口・排気口がふさがっている	→ふさいでいるものを取り除いてください。
	●ドアの開閉が多すぎる	→ドアの開閉をできるだけ減らしてください。
	●直射日光の当たる場所など、周囲の温度が高い場所で使用している	→保冷温度の目安は外気温から－20℃になります。日陰や涼しい場所に移動してください。
	●冬場などに、周囲の温度が低い場所で使用している	→室内など、暖かい場所に移動してください。周囲温度が低い場合、規定温度55℃までは時間がかかります。
赤と緑のランプが同時に点滅する	●扉が開いたままとなっている	→扉を閉めてください。（※）
	●使用温度範囲外で使用されている	→使用温度範囲内で使用ください。（※）
	●フィルターの目詰まり	→フィルターのお手入れ（P8参照）をしてください。（※）
	※上記対処いただいた上でスイッチを「切」にしてから約２時間程度空けたのち「保冷」または「保温」にしてください。通常の運転に戻ります。	
ファンが作動しない	●毎日24時間連続で使い続けている	→商品の寿命は毎日使用された場合、約2年間となっております。新しい製品をお買い求めください。

上記の操作を行っても症状が回復しない場合は、使用を中止して、お求めの販売店、または弊社修理ご相談センターへ修理をご依頼ください。